

様式③

提出日 2018年2月4日

## 2017年度 琉球弧研究支援 報告書

研究テーマ 「「沖縄は平和なのか」についての調査」

氏名： 越智慎介

所属学部学科： 法経学部 法経学科

### I. 初めに (調査目的)

現在の沖縄で、米軍基地問題や沖縄戦に対する意識はどのようになっているのか、これから平和に暮らすためにはどのようにすればよいのかを考えるために、平和祈念公園で慰霊の日に調査を行いたいと考えようになった。

### II. 研究の目的、動機

私は、八重瀬町で生まれ育ち、子供の頃から戦跡や沖縄戦の記憶継承ということに関心を持っていた。そこで、今回の目的として①今終戦を迎えて平和に暮らしているが、実際に沖縄県民はどう感じているのか、②沖縄での米軍基地問題や沖縄戦の歴史、平和とはどういうものであるのかということ、戦争体験者や現代の若者から聞くことで、沖縄県の平和に対する思いや現状、これからの課題が見えてくると思う。

### III. 研究方法、地域、期間

2017年6月23日 糸満市平和記念公園でのインタビュー調査

#### IV. 結果

##### 性別について

女性： 5人

男性： 6人

計： 11人

性別について尋ねたところ、女性は5名、男性は6名という結果になった。

##### 年齢 尋

年齢について尋ねたところ、20代、30代それぞれ2名ずつ、40代、50代、60代それぞれ1名ずつ、70代、80代それぞれ2名ずつという結果になった。

##### 問1：沖縄戦についてどの程度知っていますか？

| 性別 | 年齢 | 回答               |
|----|----|------------------|
| 女性 | 70 | ある程度知っている        |
| 女性 | 73 | 1歳だったので、全く覚えていない |
| 女性 | 69 | あまり知らない          |
| 女性 | 30 | ある程度知っている        |
| 女性 | 22 | ある程度知っている        |
| 男性 | 80 | ある程度知っている        |
| 男性 | 52 | あまり知らない          |
| 男性 | 35 | 全く知らない           |
| 男性 | 29 | ある程度知っている        |

|    |    |           |
|----|----|-----------|
| 男性 | 80 | よく知っている   |
| 男性 | 45 | ある程度知っている |

| 回答               | 人数 | パーセンテージ |
|------------------|----|---------|
| よく知っている          | 1  | 9.1%    |
| ある程度知っている        | 6  | 54.5%   |
| あまり知らない          | 2  | 18.2%   |
| 全く知らない           | 1  | 9.1%    |
| (生まれたばかりで)覚えていない | 1  | 9.1%    |
| 計                | 11 | 100.0%  |

沖縄戦について「ある程度知っている」と回答した人は6名(54.5%)と最も多く、次に「あまり知らない」が2名(18.2%)と続き、「よく知っている」「まったく知らない」「(生まれたばかりで)覚えていない」が各1名という結果になった。ここから、沖縄戦については、ある程度知っている人が多くいたが、よく知っているという人は1名しかいなかった。沖縄戦についてよく知っていると思う人は多くないということが読み取れる。

この結果を属性とつなげてみると、「よく知っている」と回答した人は80歳の男性であり、沖縄戦を経験している可能性が高いことがわかる。

## 問2：日本や沖縄が平和と思いますか？

| 性別 | 年齢 | 理由                                |
|----|----|-----------------------------------|
| 女性 | 70 | 沖縄だけに基地が多いから。そして辺野古に基地を造ろうとしているから |
| 女性 | 73 | 沖縄に基地があるので、真の平和とは言えない             |
| 女性 | 69 | 子や孫、地球を見ても平和であると感じる               |

|    |    |                       |
|----|----|-----------------------|
| 女性 | 30 | 核兵器などを造ろうとしているのではないか  |
| 女性 | 22 | 戦争がないだけが平和ではない        |
| 男性 | 80 | 戦争がないから平和である          |
| 男性 | 52 | 基地が残っている限り、戦争は終わっていない |
| 男性 | 35 | アメリカと中国の関係。そして北朝鮮問題など |
| 男性 | 29 | 紛争や事件が多いから            |
| 男性 | 80 | 沖縄に75%の基地があるから        |
| 男性 | 45 | 沖縄での基地問題が起きているから      |

| 回答       | 人数  | パーセンテージ |
|----------|-----|---------|
| 平和だと思う   | 2名  | 18.2%   |
| 平和だと思わない | 9名  | 81.8%   |
| 計        | 11名 | 100.0%  |

上記の回答を「平和だと思う」「平和だと思わない」に分類してみると、「平和だと思わない」と回答した人は9名（81.8%）と多く、「平和だと思う」2名（18.2%）を大きく上回った。また、日本や沖縄が平和かどうかを考える際、米軍基地問題に関連して意識している人が5名であり、「平和だと思わない」と回答した人の半数以上を占めていた。

結果、沖縄から米軍基地が撤去されてこそ、平和であると感じている人が多いということが読み取れる。

しかし、「平和である」と回答した人たちは、戦争もなく、毎日平和に過ごせているということが読み取れる。

問3：沖縄に米軍基地は必要ですか？

| 性別 | 年齢 | 理由                                 |
|----|----|------------------------------------|
| 女性 | 70 | 防衛のためには必要だが、戦争につながるようなものにはなってほしくない |
| 女性 | 73 | 70%以上が沖縄にあり、これはダメであり必要ない           |
| 女性 | 69 | 戦争には反対だが、交流できていることには感謝している         |
| 女性 | 30 | どちらともいえない                          |
| 女性 | 22 | アメリカが日本を守っていると思うので、必要である           |
| 男性 | 80 | 安保条約により守られているので、安全である              |
| 男性 | 52 | 日本国憲法に反しているため、必要ではない               |
| 男性 | 35 | 沖縄での経済水域の問題があるため、どちらともいえない         |
| 男性 | 29 | 沖縄戦を体験して犠牲になった人たちから学んでいるため必要ない     |
| 男性 | 80 | 以前のようになってほしくないから必要ない               |
| 男性 | 45 | 基地は経済の阻害であるため、必要ない                 |

| 回答               | 人数 | パーセンテージ |
|------------------|----|---------|
| 必要である            | 3  | 27.3%   |
| 必要ではない           | 5  | 45.4%   |
| どちらともいえない        | 2  | 18.2%   |
| 交流できていることに感謝している | 1  | 9.1%    |
| 計                | 11 | 100.0%  |

上記の質問に対し、「必要ではない」と回答した人が、5人（45.％）と最も多く、「必要である」と回答した人3人（27.3％）を上回った。このことから、沖縄にとって米軍基地は、阻害要因の一つになっていることがわかる。

また、「戦争につながるようなものには必要ない」、「以前のようになってほしくない」といった回答から、沖縄戦に対しての思いや平和への願いを訴えていることを感じ取ることができる。

**問4：沖縄に自衛隊は必要ですか？**

| 性別 | 年齢 | 理由                      |
|----|----|-------------------------|
| 女性 | 70 | 防衛のためには必要だが、戦争のためには必要ない |
| 女性 | 73 | 戦争につながりそうなので、必要ない       |
| 女性 | 69 | 平和維持のためであってほしい          |
| 女性 | 30 | 防衛のためには必要である            |
| 女性 | 22 | 仕事やその人のことを考えると必要である     |
| 男性 | 80 | 米軍基地があるため、必要ない          |
| 男性 | 52 | 自然災害などでは必要である           |
| 男性 | 35 | 災害の時には必要である             |
| 男性 | 29 | 自衛のためには必要である            |
| 男性 | 80 | 理由はないが、必要ない             |
| 男性 | 45 | 防衛のためには必要である            |

| 回答          | 人数 | パーセンテージ |
|-------------|----|---------|
| 防衛のために必要である | 7  | 63.6%   |
| 必要ではない      | 3  | 27.3%   |
| 仕事のために必要である | 1  | 9.1%    |
| 計           | 11 | 100.0%  |

上記の質問に対し、「防衛のために必要である」と回答した人が、7人（63.6%）と最も多く、「必要ではない」という3人（27.3%）を上回った。このことから、自衛隊は、私たちが災害から守る組織であると考える人たちが多いということが読み取れる。

しかし、73歳女性は「戦争につながりそうなので、必要ない」と回答している。このことから、今後自衛隊などが戦争に巻き込まれてしまうのではないかと心配がされていることが、感じ取れる。

#### 問5：また沖縄戦が起こると思いますか？

| 性別 | 年齢 | 回答            | 理由                                    |
|----|----|---------------|---------------------------------------|
| 女性 | 70 | どちらとも<br>いえない | テロや様々な事件が起きているから                      |
| 女性 | 73 | どちらとも<br>いえない | 最近の政治を見ていると危ないような気がして、忘れたころに起こるのではないか |
| 女性 | 69 | いいえ           | もし戦争が起こりそうになったとしても反対運動をすれば勝つと思う。      |
| 女性 | 30 | はい            | 第三次戦争が起こるのではないか                       |
| 女性 | 22 | いいえ           | 戦争についての意識が強いから                        |
| 男性 | 80 | いいえ           | ずっと平和が守られて、維持できそうだから                  |

|    |    |               |                               |
|----|----|---------------|-------------------------------|
| 男性 | 52 | どちらとも<br>いえない | 北朝鮮問題で沖縄が巻き込まれるのではないか         |
| 男性 | 35 | どちらとも<br>いえない | 平和を訴えて、北朝鮮のような国が平和を守るのか不安である  |
| 男性 | 29 | いいえ           | 沖縄戦を体験して学んでいるから               |
| 男性 | 80 | はい            | 米軍基地が多いから                     |
| 男性 | 45 | どちらとも<br>いえない | 今の世の中を見ている不安定なので、いつ起こるのかわからない |

| 回答        | 人数 | パーセンテージ |
|-----------|----|---------|
| 起こってしまう   | 2  | 18.2%   |
| 起こらない     | 4  | 36.4%   |
| どちらともいえない | 5  | 45.4%   |
| 計         | 11 | 100.0%  |

上記の質問に対し、「どちらともいえない」と回答した人が5人と最も多く、起こらないと回答した4人（36.4%）を上回った。「どちらともいえない」とは、いつ沖縄戦が起こるのかわからないと不安に思っていることが、読み取れる。

また回答の中で、現代政治や北朝鮮問題、米軍基地問題に対し不安を持ち、再び沖縄戦が起こるのではないかと不安を感じる人たちがいることが読み取れる。このことから、現代が不安定な状況であるということが読み取れる。

問6：もし徴兵令が出されたらどうしますか？

| 性別 | 年齢 | 理由                 |
|----|----|--------------------|
| 女性 | 70 | 反対する               |
| 女性 | 73 | 絶対に行かない            |
| 女性 | 69 | 反対する               |
| 女性 | 30 | 戦う。そしてみんなに仏法を教えていく |
| 女性 | 22 | 無視する               |
| 男性 | 80 | 反対する               |
| 男性 | 52 | 拒否する               |
| 男性 | 35 | 法律が出たら仕方ない         |
| 男性 | 29 | 絶対に行かない            |
| 男性 | 80 | 拒否する               |
| 男性 | 45 | 拒否する               |

| 回答           | 人数 | パーセンテージ |
|--------------|----|---------|
| 行かない・反対する    | 9  | 81.8%   |
| みんなに仏法を教えていく | 1  | 9.1%    |
| 法律が出たら仕方ない   | 1  | 9.1%    |
| 計            | 11 | 100.0%  |

上記の質問に対し、「いかない・反対する」と回答した人が 9 人 (81.8%) に対し「法律が出たら仕方ない」、「みんなに仏法を教えていく」各 1 名ずつと、大幅に上回った。

このことから、多くの人は戦争の犠牲になることを拒んでいることが読み取れる。そして、命の大切さについても考えることができる。

回答者の中で 35 歳、男性は「法律が出たら仕方ない」と諦めている。つまり、法に勝つことはできないと言っていることが読み取れる。

問 7：平和に暮らしていくために私たちができることは何だと思いますか？

| 性別 | 年齢 | 平和に暮らしていくためにできること         |
|----|----|---------------------------|
| 女性 | 70 | 武器を持たず、話し合っ解決していくこと       |
| 女性 | 73 | 戦争をなくすことが大切である            |
| 女性 | 69 | 善と悪を見極めること                |
| 女性 | 30 | 仏法で解決していく                 |
| 女性 | 22 | 正しいことを伝えていく               |
| 男性 | 80 | 子供たちに平和のありがたさを教えること       |
| 男性 | 52 | 戦争があったことを語り続けていくこと        |
| 男性 | 35 | 訴えていくこと。そしてルールを作ることが大切である |
| 男性 | 29 | 相手の良いところ、悪いところを認める        |
| 男性 | 80 | わからない                     |
| 男性 | 45 | 真実を受け止めていくこと              |

上記の回答より、それぞれ違った意見を持っていることがわかる。そこから、それぞれが平和に暮らしていくためには、まず行動に移すことが大切であるということが読み取れ

る。そのためには、多くの人に過去の歴史を知ってもらい、平和のありがたさを感じてもらうことが大切であるということが感じ取れる。

問8：これから沖縄戦の歴史をどのように追及していくべきだと考えていますか？

| 性別 | 年齢 | 沖縄戦の歴史をどのように語っていくべきか            |
|----|----|---------------------------------|
| 女性 | 70 | 語り部が少なくなっているのので、次の若い人たちに語ってほしい  |
| 女性 | 73 | 次に語り継ぐこと。そして平和学習を行うこと。今は世代交代である |
| 女性 | 69 | 語り部が少なくなっているのので、学校教育で取り入れていくこと  |
| 女性 | 30 | 仏法で伝えていく                        |
| 女性 | 22 | 体験者が少なくなっているのので、祖父・祖母との関係を深めること |
| 男性 | 80 | 平和のありがたみを子供たちに教えていくこと           |
| 男性 | 52 | 戦争があったことを語り続けていくこと              |
| 男性 | 35 | 平和運動を続けること。そして平和記念公園などにも足を運ぶこと  |
| 男性 | 29 | 無関心ではいけないこと                     |
| 男性 | 80 | わからない                           |
| 男性 | 45 | ありのままの歴史を受け止めて、次に継承していくべきである    |

沖縄戦の歴史の追求に対して、それぞれ違う考えを持っていることがわかる。

このことから、これから一人一人が自分なりの考えで、沖縄戦の歴史、平和維持のための活動することが大切であるということが読み取れる。

回答者の中で80歳男性は「わからない」という回答している。沖縄戦を経験している可能性があるので、次に語ってほしいと感じる。

## V. 考察、分析

回答の中で、半数以上の人が平和ではないと感じている。これから平和に暮らしていくためには、平和とは何か、平和に暮らしていくために出来ることは何かということを考えることが大事である。そこから、沖縄戦の歴史を語り継ぐこと、米軍基地問題に対して意識することができるのではないかと思う。また、現代の政治にも意識することが大事であると思う。

## VI. 今後の展望

今後、沖縄戦経験者がいなくなるのは確実である。その歴史を消さないために、沖縄戦経験者が、次に語っていくこと。また、平和学習の一つとして取り入れるべきである。

県外の人にも知ってもらうために観光の一つとして、経験者からの話、戦跡巡りなどをすべきである。また、辺野古の新基地建設問題の現状を観ることで沖縄戦との関係性を感じることができるのではないかと思う。

## VII. 終わりに（結論）

今、私たちは平和に暮らしている。しかし、沖縄戦経験者の減少、米軍基地問題などにより真の平和は取り戻せていない。

将来の沖縄が平和なのかということは誰も知らない。しかし、将来の沖縄が平和であるために出来ることはたくさんあるのではないかと感じる。また、過去の歴史から学び、平和につなげていくこともできるのではないかと思う。

## VIII. 参考文献、調査協力

平和記念公園での女性 5 人、男性 6 人

## IX. 指導教員コメント

本調査研究は、「沖縄は平和なのか」という大切な問い掛けを基に、慰霊の日の平和記念公園の訪問者を対象に、沖縄県における米軍基地のあり方や自衛隊の是非、平和のあり方、徴兵制、沖縄戦の継承の方向性など、平和に関わる様々な項目について丁寧に聞き取り調査を行ったものである。炎天下、5 時間に渡り調査を実施した熱意や意欲は評価されるべきである。また、調査結果も貴重なものとなっており、今回まだ書き終えていない部分をきちんと考察していくことが望まれる。